小 5	受験番号		氏名	

入塾試験サンプル

小　5

算　数

[ご注意]

1．この「入塾試験サンプル」の問題数は，実際の入塾試験の問題を減らしたサンプル版となっています。

2．実際の入塾試験では，問題によってはやや難易度(なんいど)が高い問題が出題される場合もあります。

3．実際の入塾試験では，問題冊子(さっし)と解答用紙は別々に分かれていますので，本番と同じように解答は解答用紙に記入して下さい。

誉田進学塾
Method for Essential Capability & Creativity
誉田進学塾 ism
Method for Essential Capability & Creativity

入塾試験サンプル問題　小５算数

1　次の計算をしなさい。

(1)　16.4×0.025

(2)　$6.28 \div 0.4$

(3)　$5 + 24 \div 3$

(4)　$50 \div (14 - 9) \times 2$

(5)　$2\frac{3}{7} + 1\frac{2}{7} - \frac{6}{7}$

(6)　$13.59 - 4.7 + 0.31$

2 次の問いに答えなさい。

(1) $\frac{75}{90}$ を約分して、最も簡単(かんたん)な分数にしなさい。

(2) $3\frac{2}{3}-\frac{4}{5}$ を計算しなさい。

(3) 60 の約数は、全部で何個ありますか。

(4) 0.8×4.9×12.5 をくふうして計算するとき、□ の**ア**、**イ**にあてはまる数をそれぞれ答えなさい。

0.8×4.9×12.5 ＝ 4.9×[ア] ＝ [イ]

(5) 3 個のぎょうざの重さをはかったら、68g、73g、72g でした。
このぎょうざ 1 個あたりの平均の重さは何 g ですか。

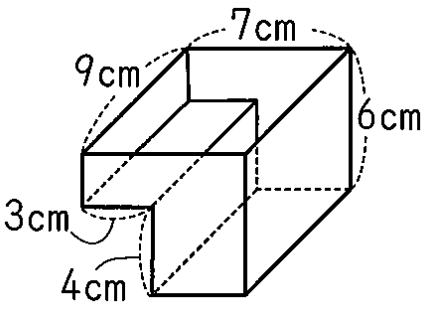
(6) 3m で 24g の針金があります。2.5m のときは何 g ですか。
また、68g は何 m のときですか。

3 Aと Bの 2つのベルがあります。Aは 4分ごと、Bは 6分ごとに鳴ります。いま、Aと Bの 2つのベルが同時に鳴りました。これを 1回目として次の問いに答えなさい。

(1) Aと Bの 2つのベルが 3回目に同時に鳴るのは、いまから何分後ですか。

(2) Aと Bの 2つのベルが 8回目に同時に鳴りました。このときまでに、Aのベルは何回なりましたか。

4 図のような、直方体を組み合わせた形をした容器に水を入れるとき、次の問いに答えなさい。ただし、容器の厚(あつ)さは考えないものとします。



(1) この容器に水をいっぱいに入れたとき、その水の体積は何 cm^3 ですか。

(2) この容器に $175.5cm^3$ の水を入れたとき、水面の高さは底から何 cm になりますか。

解答

1

(1) 0.41　　(2) 15.7　　(3) 13

(4) 20　　(5) $2\frac{6}{7}$　　(6) 9.2

2

(1) $\frac{5}{6}$　　(2) $2\frac{13}{15}$（または$\frac{43}{15}$）

(3) 12（個）　　(4) ア…10　イ…49

(5) 71（g）　　(6) 20（g）、8.5（m）

3

(1) 24（分後）　　(2) 22（回）

4

(1) 270（cm^3）　　(2) 4.5（cm）

解説

2

(3) 1，2，3，4，5，6，10，12，15，20，30，60 の 12 個です。

(4) 計算のしやすい 0.8×12.5 を先に計算します。

(5) (68＋73＋72)÷3＝71 (g)

(6) 1m あたり 24÷3＝8 (g) なので、8×2.5＝20 (g)。また、68÷8＝8.5 (m)

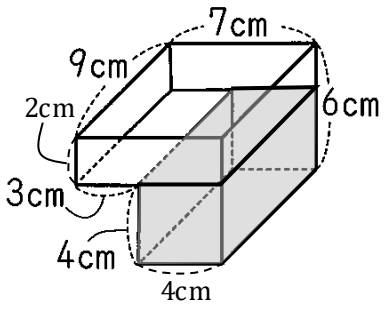
3

(1) A と B は 4 と 6 の最小公倍数である 12 分ごとに同時に鳴ります。開始時が 1 回目であることに注意すると、12×(3－1)＝24 (分後)

(2) 8 回目に同時に鳴るのは、12×(8－1)＝84 (分後)
84÷4＝21 (回) と最初に鳴っている分を合わせて 22 回

4

(1) 図のように 2 つの直方体に分けて考えます。
9×4×4＋9×7×2＝270 (cm^3)



(2) 下の直方体には水が 144cm^3 入りますので、
残りは 175.5－144＝31.5 (cm^3) です。
31.5÷63＝0.5 (cm) なので
4＋0.5＝4.5 (cm)

入塾試験受験者へのアドバイス

入塾試験のサンプル問題をやってみていかがでしたか？

実際に出題される入塾試験の問題数は，このサンプルの**約 2 倍**あります。それを試験時間内に一通り終わらせて入塾基準点に届くためには，**問題をしっかり読んで，「速く」そして「正確に」答えること**が必要です。

さらに，**見たことがない問題**も出題されることがあります。これは，今までに学習してきたことをもとに考える応用問題です。その問題を解けるかどうかが，入塾基準点に届くかどうかにかかってきます。

ただし，そのような問題も，**今持っている知識や考える力を使って，問題文に書かれていることを理解**できれば，必ず解けるようになっています。マニアックな知識や考え方が要求されるものではありません。

以上のことをわかった上でしっかり準備して，入塾試験を受験するようにして下さい。今回入塾試験の申し込みをして頂いたあなたが私たちといっしょに誉田進学塾で勉強していくことを楽しみにしています。健闘を祈ります。

詳細な解説や学習相談については各校舎スタッフにお気軽にお問い合わせください。